

八、家庭教育の選擇のみならず婢僕の選擇も亦兒童教育上極めて必要なり家庭の事情によりては兒童は父母の感化よりも婢僕の影響を受くること大なるものありこれ大に注意せざるべからず。

九、多數の兒童ある家庭に於ては往々父母の之に愛を頒つこと不公平なるありて爲に兒童相互間の不和を起し甚しきは一家大破綻の原因となることとありこれ亦大に注意すべき事なり。

十、父母殊に母は成るべく屢々學校を參觀して教員と兒童の訓育に就き懇談せんことを要す。

遊戲的積方に就て

和田實

積方と云ふのは、木片や石片を積み重ねて種々な形態を構造するのが主なる遊であるが、反對に積んだものを一つ一つ丁寧に下すこともある。最も面白き遊であるが小さな子供には興味がない。最も普通に行はれて居るのは單に積み重ねて造るこ

とである。積方の中最も普通なるは木片の積方即ち積木である。而して此積木には普通玩具店にあるものと從來幼稚園で用ゐて居るフレール式のものと二種がある。坊間に賣られて居るものは木片が細く且特種の圓柱や特種の飾形などがあつて初歩の子供には餘り適當したものではない。が少し大きい子供には或は家或は軍艦などを積むことが出来るので夫れく多少の興味があるものである。併し是等の積木は何れも木片の形に特種のものがあるので應用の範圍は自然狭小なるを免れない。是に就いて一番よく出来て居るのは矢張りフレール式の積木である。併し氏の積木が形態の種類を六種に限り且全體を必ず一個體にまとめ様としたのは少し牽強の嫌がある。且積木の種類を分けて第一積木より第四積木に至る四種とし何れも形態と其數を限つたのは窮屈な感を免れない。東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於ては多少之を改良して四種を減じて三種とし其形態の種類と其數とを幼兒の年齢に適當なる様組み合せて左の三組として居る。

		第一	第二	第三
正方形	四	四	四	四
長方體	四	四	四	四
方體	四	四	四	四
大三角柱	四	四	四	四
小三角柱	四	四	四	四
四角柱	八	四	四	四

一般に我國の幼稚園では此改良の組を使用しては居るが外國人設立の幼稚園では依然フレール式のものを使用して居るところが多い、殊に甚だしき頑固な外國人關係の幼稚園などでは木片の大さ迄も吋尺に因つたものでなければならぬと云ふて居るのさへある。頑固も是程になると寧ろ滑稽であるが兎に角從來の幼稚園ではフレールの定めた六種の形態を數個組合せて一定の箱に收め常に之のみを以て積方の材料として居るのである。是は寔に變通の便、融通の利を失つたもので行動の頗る自由な幼児に採つては極めて不自然なものとして云はねばならぬ。之を實際の狀況に徴するに何處の幼稚園でも遊園や砂場に用ゆる積方の材料として別種のものを用意せざるを得ない様な趨

勢になつて來て居るし、家庭に於ては幼稚園用以外の積木即ち坊間に販賣せられて居るものを持つて居ると云ふ風で、形と數とを限ると云ふことの合理的でないことが知れる。之を要するに積方の材料としては木片、石片、瓦片等種々なるものに差支なく其形態亦一定するの必要はなきものである。唯幼児に何が最も興へ易きかと云は、木片最も便利なる可く、木片を造るとせば如何なる形態が最も幼児に好まるゝかと云ふ點に於て多少の限定を生ずるものである。併し幼児の性質としては決して是等の事情に係らず、機に應じて種々なる材料を要求するものである。其數に於ては殊に終止一定するの非理なることを主張せねばならぬ。幼児の構造するや始めは簡易にして漸次複雑を増すのである。積木の數は是に應じて進歩せねばならぬ。之を終止一定することは何うしても理屈に合はぬ。又實際に保育して居る處を見ると積木の組の種類に係らず其數を加減して居る人が多い。此事實は吾人の主張を證據立つるものと云はねばならぬ。

以上述ぶるが如く吾人は材料の物質と形と數とを必ずしも一定しやうとするものではないが、中に就きて積木は取扱上最も便利なるものとして幼児教育上必備のものと思ふのである。然らば其の形は如何なるものを最もよしとするかと云ふに之を幼児の實際に徴するに煉瓦形な長方體は最も幼児の興味に適する様である。次に最も好まるは正方形及其半切であるやうである。三角體及方柱は稍發達したものに必要のやうである。尙進みては圓柱及長方體の二個をつなぎたるものを加ふることは確かに興味多きことであらうと思ふ。而して幼児の用ゆる數の最多限はフレーベルは三十六個とし附屬幼稚園に於ては二十八個として居る。吾人は多きに從ひ四五十個乃至百個位(各形態を取り交せ)を設備して置くことは必要なことであらうと思ふ。左に之を表記して見やう。

- 長方體 十六個 巾一寸長二寸厚五分
- 同二個(つなきのもの) 四個 巾一寸長四寸厚五分
- 正方體 八個 一寸立方
- 同半切體 八個 一寸平方厚五分

- 大三角體 八個 (二等邊各一寸)
- 小三角體 十六個 (二個併せて方體トナルモノ)
- 大方柱 四個 基底一寸(四個併せて方體トナルモノ)
- 小方柱 八個 徑一寸長四寸
- 圓柱 四個 直徑五分長二寸

以上の數は常に幼児の使用す可きものとして一まとめにして置くとか一定の箱入にして置いて常に之を興ふるとか云ふ方法を探る必要はない。時に應じて適當の數丈或は保姆之を選び或は幼児自身をして選ばしむ可きである。尤も家庭などでは買入上一組としての方が便利であらう。以上普通机上用の外、二倍又は三倍大のものを特に使用する所もある。幼児は此方を寧ろ悦ぶ様である。砂場及遊園内に於ける積木は煉瓦の實物大位のものを選ぶのがよろしい。他の形態も之に準じたるを可とす。幼児の積木を指導せんには初めは先輩幼兒の積木遊びを見せしむるか又は保姆自身の模範を観察せしむることより始めなければならぬ。此時に於ける形態の種類と數とは保姆の選んでやることが必要である。それより漸次に自由構造に、

入り遂には材料の自由選擇にも入る可きである。進みたる自由製作の中には積木の糊付も面白いだらうと思ふ。元來から云へば積みたるものが直に崩され、又積み直はさるゝところが面白い所ではあるが進みては折角、造りたるものを直に崩すこととの惜しき様になるものである。此時には之を糊付にして置いて多少の時日間保存することが出来たらば面白からうと思ふ。数日の後愈不用に歸したる時は消毒を兼ねて洗へば亦元の通りにするこどが出来るから、別段何事の不都合もない。唯一度糊付にしたらば洗はぬ迄は他の材料を以て間に合はせねばならぬ故、多少材料の多くを設備する必要がある丈である。勿論、之に用ゆる糊はうどほん粉か、生糞糊の様な水に弱いものが適當である。本會編纂の圖形に示してある所の材料は先輩幼児又は保母の積みて見せしむ可きものを蒐集したるものにて従つて幼児自身の製作物も此中にある可きである。併しながら幼児の發表する所は凡ての幼児必ずしも一定して居らぬ。過去の經驗の相違よりして其發表は種々に差異ある可きである。故

に圖形は參考とすることは宜しいが必ずしも守る可きものではない。且彼圖形は主として一定の數を以て工夫せるものを集めたので記者の主張より見れば多少偏傾せる嫌がある。今後の保育者は斯る益なき制限に拘泥せず、自由なる發達を心掛く可きである。木片以外の材料に囚れる積方は遊園又は野外遠足の際等に行はるべきで、時に採つて頗る興味あるものではあるが、大體は幼児の自由製作に任して置いて差支なきものである。

女子の高等教育 (浮田博士)

少數の人間の教育を受ける時代には、學者が威張り散らして仕方が無い、男子のみを教育して元來男子と女子の育を無暗に感して孫傳の如く、女子の教育を高くするの心を續き合つたものである。福澤翁の如く、女子の教育を高くするに、男子の性質を同じく受けるものであるから、若し眞に男子の教育を高くするに、福澤翁の如く、女子の教育を高くすればならぬ。福澤翁の如く、女子の教育を高くするに、男子の性質を同じく受けるものであるから、大層可愛がつた人ださうで、福澤翁の如く、女子の教育を高くすればならぬ。福澤翁の如く、女子の教育を高くするに、男子の性質を同じく受けるものであるから、で佛の如く、福澤翁の如く、女子の教育を高くするに、男子の性質を同じく受けるものであるから、見られるので、福澤翁の如く、女子の教育を高くするに、男子の性質を同じく受けるものであるから、